

会 議 録

会 議 名	平成29年度第2回八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会	
日 時	平成29年7月18日（火） 午後3時15分～5時40分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 805会議室	
出 席 者 氏 名	委 員	井上仁会長、中込順子副会長、青木訓行委員、荒井容子委員、石田健太郎委員、内野彰裕委員、岡崎理香委員、小林千里委員、鈴木紀幸委員、立石晴美委員、田中伸幸委員、中嶋美和委員、百瀬初雄委員（会長、副会長、以下五十音順）
	関連所管	富山大横保健福祉センター館長、三谷障害者福祉課主査
	事務局	豊田子ども家庭部長、中正子どものしあわせ課長、小俣保育対策課長、澤田保育幼稚園課長、武田子育て支援課長、辻井子ども家庭支援センター館長、大澤課長補佐、小林課長補佐、溝呂木課長補佐、後藤主査、小島主査、秋元主査、内野主査、田中主査、井垣主査、永井主査 他
欠席者氏名	後藤高浩委員、塩澤伸久委員、辰田雄一委員、廣元冽委員、宮崎豊彦委員	
議 題	議事 第3次子ども育成計画の取組状況の点検・評価について その他 子ども育成計画に関係する計画の状況について	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	0名	
配付資料名	○第3次子ども育成計画の点検・評価報告書（別紙） ○子ども育成計画に関係する計画の状況について（資料1） ○児童福祉法（抜粋）（資料2）	
会議の内容	別紙のとおり	
会議録署名人	平成30年1月31日 鈴木紀幸	

【井上会長】 定刻になりましたので開会いたします。

第3次子ども育成計画の点検・評価報告書をご覧ください。前回ご議論いただいた内容が反映されているかと思しますので、確認しつつ進めていきたいと思います。

では、事務局から中身について説明をお願いします。

【中正子どものしあわせ課長】 本日は17の基本施策ごとの「児童福祉専門分科会による評価」と「今後の課題・平成29年度以降の施策の展開」の部分について審議をいただきたいと思います。また、17の基本施策が終わりましたら、全体の総合評価についてご意見を伺いたいと思います。では、基本施策1のページをご覧ください。

(資料「第3次子ども育成計画の点検・評価報告書(基本施策1)」について説明)

【井上会長】 この分科会の中身にも関わることで、会議の開催状況が7ページに載っています。子ども家庭福祉のあり方に関する検討会については、報告書の作成が遅れているようです。

皆様から意見はございますか。よろしいでしょうか。では、次に進みます。

【中正子どものしあわせ課長】 (資料「同報告書(基本施策2)」について説明)

【井上会長】 指標と実績値も併せてご覧いただき、改善が進んでいるか、評価の判断材料としていただければと思います。何か意見はございますか。よろしいでしょうか。

では、次に移ります。

【中正子どものしあわせ課長】 (資料「同報告書(基本施策3)」について説明)

【井上会長】 保育指針とか幼稚園の教育要領を踏まえるのは当たり前のことで、「計画に定める子どもにやさしいまちづくりに沿って」と書かないと、意味がないかと思いますが、いかがでしょうか。子どもにやさしいまち、ということを計画に明確に示していますので、そちらを前面に出していただいたほうが市民にわかりやすい気がします。石田委員、いかがでしょうか。

【石田委員】 同様に考えます。

【井上会長】 ほかに何かありますか。よろしいですか。では、次に進みます。

【中正子どものしあわせ課長】 (資料「同報告書(基本施策4)」について説明)

【井上会長】 どの子どもにも放課後の安心な居場所を、ということが計画の大きな目玉になっていますので、そういうことも入れておいていただくといいのかな、と思います。

ほかに何かありますか。よろしいですか。では、次に進みます。

【中正子どものしあわせ課長】 (資料「同報告書(基本施策5)」について説明)

【井上会長】何か意見はございますか。よろしいでしょうか。では、次に進みます。

【中正子どものしあわせ課長】（資料「同報告書（基本施策6）」について説明）

【井上会長】文章ですが、人口減少は全部が待機児童のせいということではありませんので、そこは誤解を生まないように書いていただきたい。待機児童数の減少はあるけども、子どもの人口減少の視点から評価としてはよくないです、そのうえで働き方の記述を入れる、というふうに、構成を整理していただきたいと思います。また、評価と今後の展開がつながるようにしていただけると、わかりやすいと思います。

【石田委員】待機児童数0という目標は、このままでいいのでしょうか。達成できる見込みがあるのでしょうか。

【井上会長】ここの目標値は当初のままですね。全然達成できない数値が書かれていても意味がないですから、修正してもいいと思いますが、修正するならそのことと根拠を明記する必要があります。

【中正子どものしあわせ課長】事業計画は変更していますが、ここでの書き方については考えたいと思います。

【岡崎委員】働きながら子育てできる環境の整備は、行政だけでできるものではなく、民間の事業所の協力が必要です。そこで、指標にくるみんなマークを取得した企業数とありますが、3企業とか5企業とか、こんなにも少ないものなのですか。

【中正子どものしあわせ課長】国の事業ですが、市で周知はしていても、働きかけまではしていないところです。

【事務局】取得しようとしている企業もありますが、八王子市では伸びづらい状況です。

【岡崎委員】企業がくるみんなマークを取得するために八王子市が企業に協力できることはあるのですか。市の裁量で何かできるのですか。ないとしたら、市の施策の目標としてここに載せるのが妥当なのか、疑問に思います。

【井上会長】くるみんなマークはハードルが高いですから、八王子市としては子育て応援企業を主に企業の協力体制を働きかけると、書いてはいかがですか。

くるみんなマークを取得した本社は市外にあるけれども、事業所は八王子市にあるという企業の数は、把握できるのですか。

【事務局】応援企業については把握することは可能です。

【井上会長】応援企業で取得している数を補足で書いておくことも考えられます。そのほうがいいかもしれません。

【石田委員】指定管理者制度の改善と他市が取り入れているバスの送迎について検討をお願いしてありましたが、どうなっているのでしょうか。

【中正子どものしあわせ課長】指定管理者制度については、行財政改革部から一定程度の統一基準が示されているので、変更は難しいところです。

【井上会長】バスを利用するサテライト型の保育については、八王子市としての仕組みをつくらないと進まないと思いますが、将来的にどうお考えでしょうか。

【中正子どものしあわせ課長】今のところ実施する計画はございません。

【井上会長】検討すると書けるのであれば、書いていただければと思います。あるいは、注文として書いていただくことでもいいかもしれません。

あと、保育所だけでなく、学童保育も待機児童数の目標値がそれでいいのか、検討してください。

他に何かございますか。では、次に進みます。

【中正子どものしあわせ課長】（資料「同報告書（基本施策7）」について説明）

【井上会長】ところどころ妊婦相談、八王子版ネウボラといった言葉が出てきますが、ネウボラという言葉の市民への浸透具合やPRも考慮に入れたうえで、文言の選択や統一に注意を払っていただきたいと思います。

【岡崎委員】新たに始めた赤ちゃんふれあい事業について評価に入れたらどうでしょうか。

【井上会長】赤ちゃんふれあい事業をうたった施策7では評価Aとなっています。「そのページを参照」と表示しておいてもいいかもしれません。では、次に進みます。

【中正子どものしあわせ課長】（資料「同報告書（基本施策8）」について説明）

【井上会長】ファミリー・サポート・センターの利用数が下がっています。地域で預かる側のなり手がなくて、この制度の継続がピンチであるという話を聞きますが、八王子市も同様ですか。

【辻井子ども家庭支援センター館長】依頼会員に比べて提供会員が少ないので、マッチングが難しい状況にあります。

【井上会長】件数が減った理由や提供会員の確保に努めることなどを書いていただいたほうがいいと思います。

他によろしいですか。では次をお願いします。

【中正子どものしあわせ課長】（資料「同報告書（基本施策9）」について説明）

【井上会長】子育てひろばガイドラインができてないようですから、引き続きご検討いた

だきたいと思います。では、次お願いします。

【中正子どものしあわせ課長】（資料「同報告書（基本施策10）」について説明）

【井上会長】何かございますか。では、次お願いします。

【中正子どものしあわせ課長】（資料「同報告書（基本施策11）」について説明）

【井上会長】主体はどこかとか、もう少し具体的に書く必要があると思います。

【岡崎委員】子ども食堂のネットワーク化による支援に取り組み始めたのであれば、そういうことを具体的な例として書けるのではないのでしょうか。

【中正子どものしあわせ課長】平成29年度から開始した事業なので、施策の展開の欄に書こうと思います。

【石田委員】ここでいうネットワークには、市民活動を中心に児童館も入っているようですが、子ども家庭支援センター、保育所を含めた地域包括的なネットワークづくりという意味付けは持たないのですよね。

【井上会長】国から包括型の対応を求められているところですが、この計画を作ったときは、もともとその発想がありませんでした。現在、八王子市では、子ども育成計画の上位計画である地域福祉計画の中でその対応をどうするか、論議をしていくところであり、また、この分科会でも子どもにおける総合的なサポートをどうしていくべきか、議論をしていく必要が出てくるかもしれません。秋以降になるかと思います。

よろしいですか。では、次お願いします。

【中正子どものしあわせ課長】（資料「同報告書（基本施策12）」について説明）

【井上会長】成長記録機能とは何かわかりにくいですから、ちゃんと説明しておいたほうがいいと思います。

【中正子どものしあわせ課長】わかりやすい説明にしたいと思います。

【井上会長】では、次お願いします。

【中正子どものしあわせ課長】（資料「同報告書（基本施策13）」について説明）

【井上会長】書いてある内容が施策8と同じようです。子育てボランティアとして子育てを支えてくれている方のこととかを書いたほうがいいのではないのでしょうか。大学との連携についても書けるとと思います。では、次お願いします。

【中正子どものしあわせ課長】（資料「同報告書（基本施策14）」について説明）

【井上会長】子ども家庭支援センター、児童相談所、要対協とか、連携の活動はしていると思いますが、実質的なネットワーク化に結びついているか、評価は難しいところです。

塩漬けケースの発生を防ぐためには進行管理が必要で、要対協を中心に、進行管理を含めた機能強化を図っていただくことも検討していただきたいと思います。

子ども支援ワーカー1級の付与状況はいかがですか。スキルアップ研修のようなものは継続が大事です。形骸化しないようにしていただきたいと思います。民生委員・児童委員の研修参加も継続していただきたいと思います。

【石田委員】社会的養護の部分ですが、里親養育のことしか触れられていませんが、すでに施設へ入所している子どもへの支援なども必要だと思います。

【井上会長】養護施設が4か所に増えますし、施設どうしのネットワークを作るとか、市の施策へ協力していただける関係づくりも必要だと思います。

ほかに何かございますか。では、次をお願いします。

【中正子どものしあわせ課長】(資料「同報告書(基本施策15)」について説明)

【井上会長】障害児計画が来年度立ち上がりますから、それに向けてどう取り組むかを入れておいたほうがいいと思います。障害児は、必ずしも特別支援学級に行く、手帳を取るというわけではありませんから、専門委員会のようなところで網を張っておかないと漏れてしまいます。教育との連携、保育との連携が出てくると思いますので、よろしく願いいたします。

ほかに何かございますか。では、次をお願いします。

【中正子どものしあわせ課長】(資料「同報告書(基本施策16)」について説明)

【井上会長】生活力向上事業という名称は、ここで使うのにふさわしいでしょうか。考えたほうがいいかもしれません。

評価がAとなっていますが、効果が示せるような、目玉として打ったものがあればいいのですが。新たにチャレンジした部分についてはA評価でいいですが、全体的には努力の継続が必要といったところでしょうか。では、次をお願いします。

【中正子どものしあわせ課長】(資料「同報告書(基本施策17)」について説明)

【井上会長】総合経営部の取組なども含めて、施策の構築について具体的に書いたほうがいいと思います。

では、総合評価の部分に移ります。(資料「同報告書(分科会による総合評価)」について説明)

いかがですか。事前にお渡しできなくて、申し訳ございませんでした。よろしいですか。

(「はい」との声あり)

もしこの後気づいた点があれば、2～3日中に事務局へお知らせください。

では、報告事項である地域福祉計画について、事務局から説明をお願いします。

【中正子どものしあわせ課長】(資料「子ども育成計画に関する計画の状況について」について説明)、(資料「児童福祉法(抜粋)」について説明)

【井上会長】国から包括支援という考え方が示されている中で、地域福祉計画という上位計画の改訂作業が進んでいます。福祉全体の枠組みが大きく動いてきますから、児童も支援体制をどう作っていくか問われてきます。なお、障害児については、独立した計画が作られることとなりますから、そちらの計画でお願いしていくこととなります。

予定では、8月に地域福祉計画の基本的方針が決まり、11月には概要が定まります。それを受け、この分科会でも必要な協議があればしていくということになります。地域福祉と高齢者と障害者の計画は、6か年又は3か年の期間を設定しますから期間が一致します。しかし、子ども育成計画だけは法律で5か年と定められていますから、期間が微妙にずれてきます。少しやりにくいのですが、国の考えもありますから、仕方がなく、対応することになります。

地域福祉計画がどの程度の内容になるかにもよりますが、よりネットワークと連携の強化が求められるということになります。相談体制の見直しが必要となり、子ども家庭支援センターを中心にどう連携を取るのか、来年以降検討する必要が出てくると思います。

何かご質問等ございますか。

【中嶋委員】マイファイルについて、どのような内容のことをするのか、気になります。

【中正子どものしあわせ課長】子どものしあわせ課が所管する就学支援シートや教育支援課が所管する学校生活支援シートなど、各所管で行っている事業を持ち寄り、いかに切れ目のない形で引き継いでいけるか、現在庁内会議を設けて進めています。10月から開始する予定です。

【富山大横保健福祉センター館長】赤ちゃん訪問のときにマイファイル事業の説明をすることになりますが、その説明内容を検討会で詰めています。また、書類の入れ物となるファイルをどんな形にするか話し合っています。そのほか、マイファイルの乳幼児版として、母子手帳を補完するような手帳をつくる準備を進めています。

【井上会長】学校との連携は。

【富山大横保健福祉センター館長】学校との連携については、まだこれからです。

【井上会長】1人の子どもの情報をどうつなげていくか。ぜひ教育を含めた各所管間の連

携をお願いします。

では、本日はこれで終了します。